

## ■株主メモ

事業年度	12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領 株主確定日	11月30日
中間配当金受領 株主確定日	5月31日
定時株主総会	毎年2月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.maru8.co.jp">https://www.maru8.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときには、 日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ■コーポレートサイト

当社のコーポレートサイトでは、株主・投資家の皆様に対し、最新の情報を紹介しております。

<https://www.maru8.co.jp>

丸八倉庫

検索



## ■個人向けトランクルームサービス

当社では個人向けの宅配型トランクルームサービスを提供しております。

<https://www.webtrunk.co.jp>

ウェブトランク

検索



# 第130期 第2四半期株主通信

2024年12月1日▶2025年5月31日

## CONTENTS

トップインタビュー	1
業績ハイライト	2
セグメント別概況	3
連結財務諸表の概要	4
会社の概況	5
株式情報	6



(証券コード9313)

東京都江東区富岡2-1-9 HF門前仲町ビルディング4階



## トップインタビュー



代表取締役社長  
峯島 一郎

### 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご支援、ご協力を賜り、有り難く厚く御礼申し上げます。  
さて、第130期（2024年12月1日から2025年11月30日まで）の第2四半期決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。  
なお、今後につきましても、業績の向上を目指して更に努力する所存でございますので、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年8月

### Q 当第2四半期の業績についてお聞かせください。

### A 将来の収益基盤強化に向けて新規設備投資を前倒し実行いたしました。

当社グループは、内外の環境変化に的確に対応しながら、さらなる成長を果たしていくために新中期経営計画（2022-2026）の具体的各施策を展開してまいりました。物流事業における具体的施策としては、既存倉庫の稼働率は安定的かつ高い水準にて推移しており、各種経費の削減にも取り組んできたほか、保管料や荷役料の料金適正化を進めており、営業収益の確保に努めてまいりました。また、きめ細かなサービスを提供しながら、既存顧客との取引拡大や新規顧客の獲得に努めてまいりました。このほか、埼玉県所沢市の新規倉庫ならびに千葉県八街市の新規文書保管センターも順調に稼働しており、将来の収益力増強に向けて事業基盤の増強も図られつつあります。不動産事業における具体的施策としては、賃貸マンションや賃貸オフィスビル等が安定的に稼働しており、不動産賃貸料収益の増加に努めてまいりました。また、将来の収益基盤強化に向けて新規設備投資を前倒し実行することとし、賃貸マンション2棟を取得しました。

この結果、売上高は2,454百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は新規設備投資に伴う初期コスト発生等により277百万円（同11.7%減）、経常利益は240百万円（同23.3%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は160百万円（同22.2%減）となりました。なお、主要指標のEBITDA（減価償却前営業利益）は559百万円（同6.8%減）となりました。

### Q 今後の事業見通しや計画についてお聞かせください。

### A 新中期経営計画の施策推進により、収益増強ならびに将来の成長を目指してまいります。

今後の経済動向につきましては、各種政策の効果等により景気は緩やかに回復傾向が続くことが期待されるものの、米国の通商政策動向等の影響から内外経済の動向は不透明感がぬぐえない状況にあります。

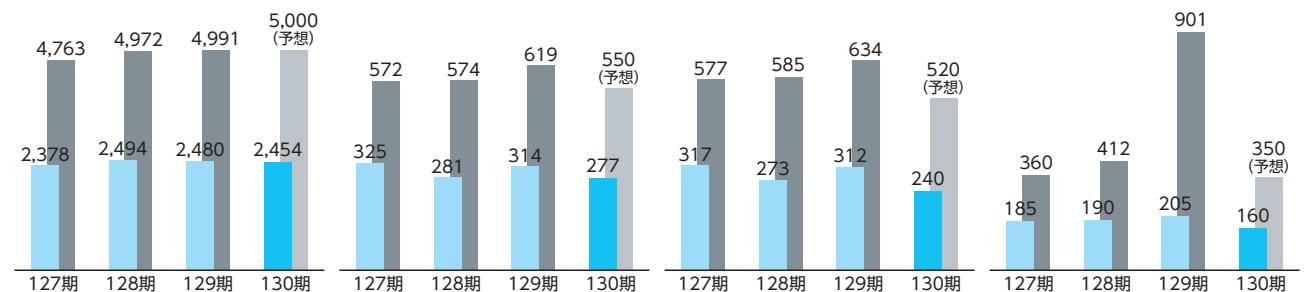
このような状況の下、当社グループは、新中期経営計画（2022-2026）の施策を着実に遂行しながら事業環境の大幅な変化に的確に対応しながら、物流事業セグメントならびに不動産事業セグメントにおける収益基盤の増強を図りつつ、企業価値の向上に努めてまいります。また、新規設備投資により将来の収益基盤が強化されつつある状況をふまえ、既存設備の修繕実施について前倒し実行する方針としております。

2025年11月期の業績予想につきましては、売上高、各種利益ともに前年比マイナスとなる計画ですが、2026年度以降は設備投資効果が浸透し、業績改善が見込まれております。

2025年11月期の配当につきましては、期末配当金を1株につき4円増額の1株につき24円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続きなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 業績ハイライト



## セグメント別概況



### 物流事業

売上高 **2,136** 百万円 セグメント利益 **373** 百万円

物流事業では、保管料収入が減少したことにより売上高は前年同期比27百万円減の2,136百万円となり、セグメント利益は各種コスト削減効果により前年同期比12百万円増の373百万円となりました。



### 不動産事業

売上高 **318** 百万円 セグメント利益 **151** 百万円

不動産事業では、賃貸用不動産の新規取得に伴い売上高は前年同期比1百万円増の318百万円となり、セグメント利益は管理コスト増加により前年同期比1百万円減の151百万円となりました。

## 丸八倉庫の歴史～戦時中の苦難と倉庫再建～

第二次世界大戦において、とくに1945年3月9日の東京大空襲により、高橋本社社屋をはじめ高橋・清澄町倉庫19棟が全焼し、罹災率は実に82%に達しました。なかでも本社社屋で当直されていた当社従業員の家族に尊い犠牲が出たことは、痛ましい被害となりました。

戦争直後は食糧をはじめ、あらゆる物資が不足しており物流量がない状態でしたが、いわゆるGHQの食糧及び物資が都内の営業倉庫に入庫するにつれて、倉庫業界の自由競争時代が到来します。当社は発祥の地である高橋倉庫と清澄町倉庫の再建を計画し、1949年から1950年までに高橋倉庫計4棟を復興しました。折しも同年に食糧統制が解除されるにしたがい、完成したばかりの倉庫は満床となりました。

1950年6月25日の朝鮮動乱ではいわゆる「糸へん」「金へん」景気をもたらし、倉庫業界も特需による活況を呈します。一方で、倉荷証券を発行しない業者によるずさんな運営により倉庫業法改正の機運が高まる側面もありました。

特需を契機とした保管需要の増加傾向のもとにあって、高橋倉庫再建も急ピッチで進捗します。高橋倉庫再建を軌道に乗せるために、同年11月9日に本社を江東区深川高橋二丁目から同区深川清澄町一丁目に移転いたしました。1951年までにさらに高橋倉庫計4棟が完成し、小名木川に面した倉庫8棟が完成したことから、念願の清澄町倉庫の工事に着手します。1953年中に清澄町2号・3号倉庫の竣工を含め、当社の所管倉庫は計16棟、2,725坪となり、戦前の約6割まで回復しました。



高橋倉庫配置図

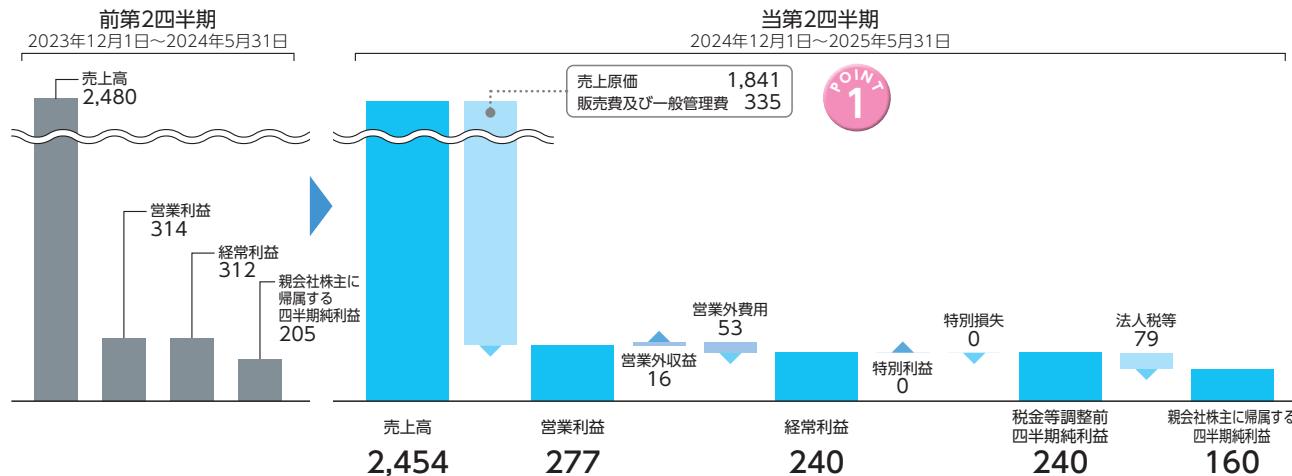


両国から江東区一帯の焼け跡 (手前：国技館)

## 連結財務諸表の概要

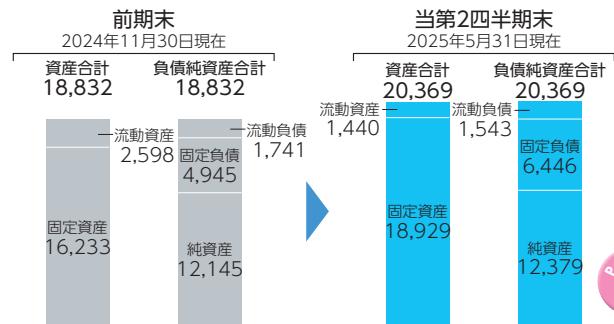
### ■ 連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



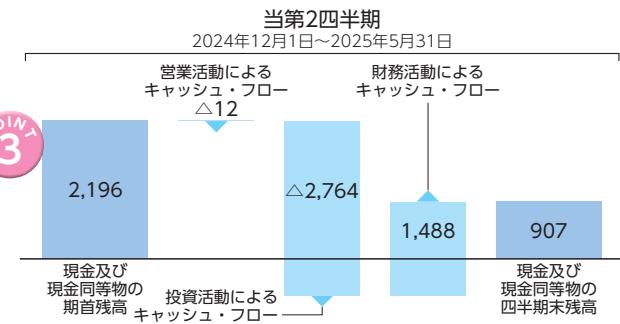
### ■ 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



- POINT 1** 各収入の料金適正化に取り組み、各事業セグメントの利益は安定推移しております。
- POINT 2** 自己資本比率60%超の水準が確保され、良好な財務体質が維持されております。
- POINT 3** 営業キャッシュ・フローならびに収支状況は安定推移しております。

▶ 詳細な財務情報は <https://www.maru8.co.jp/ir.html>

# 会社の概況

## 会社概要

商号 丸八倉庫株式会社  
 英文 Maruhachi Warehouse Company, Limited  
 設立 1934年3月  
 資本金 25億2,760万円  
 従業員数 48名 (2025年5月31日現在)

## 役員

代表取締役社長 峯島 一郎  
 専務取締役 宮沢 浩元  
 常務取締役 谷 健次  
 取締役 山口 正志  
 取締役 佐藤 久和  
 常勤監査役 渡邊 勝之  
 監査役 三木 康史  
 監査役 佐藤 昌昭  
 執行役員 佐々木 学  
 執行役員 楠田 真一郎

## 事業所

### 当社の主要な事業所

高橋営業所 東京都江東区	埼玉営業所 埼玉県所沢市
若洲営業所 東京都江東区	草加営業所 埼玉県草加市
葛西営業所 東京都江戸川区	八街営業所 千葉県八街市
板橋営業所 東京都板橋区	仙台営業所 宮城県仙台市

### 子会社の事業所

東北丸八運輸株式会社  
 宮城県仙台市若林区卸町東4-1-11

丸八クワイエット株式会社  
 東京都江東区富岡2-1-9  
 HF門前仲町ビルディング4階



# 株式情報

2025年5月31日現在

## 株式の状況

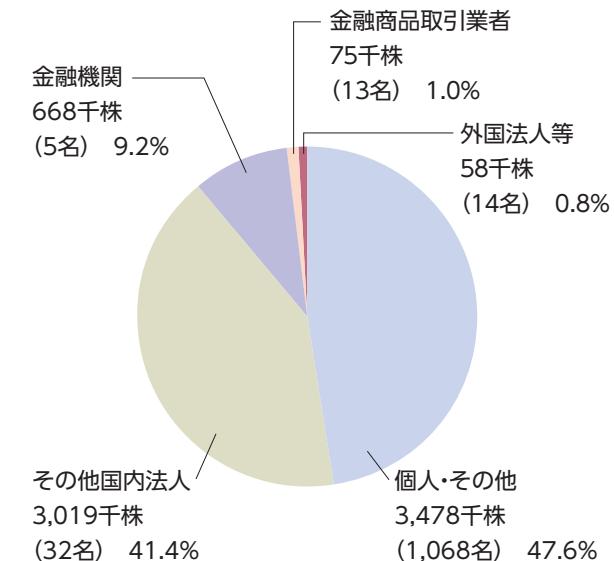
発行済株式の総数 ..... 7,300,000株  
 株主数 ..... 1,132名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
尾張屋土地株式会社	1,639	27.68
山崎商事株式会社	400	6.76
東京海上日動火災保険株式会社	327	5.53
三菱UFJ信託銀行株式会社	205	3.46
養命酒製造株式会社	200	3.38
有限会社藍屋	177	3.00
峯島 一郎	174	2.95
ホーチキ株式会社	155	2.62
大豊建設株式会社	140	2.36
有限会社八峯	132	2.23

(注) 持株比率は、自己株式(1,378,807株)を控除し、小数点以下第3位を四捨五入して計算しております。

## 所有者別分布状況



(注) 1. 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 自己株式(1,378,807株)は、個人・その他に含めております。

株主の皆さまの  
 声をお聞かせください



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
 お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示される  
 アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>      アクセスキー 9313j2ny

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。  
 アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 ☒ koekiku@pronexus.co.jp